豊かな稔りに。日本の農業を応援します。

# TBJ\* **IDJ** 第99号 (\*Ishihara bioscience Japan = 石原バイオサイエンスの略)



# 水稲用除草剤の適用雑草

# 水稲除草剤における適用雑草のグループ化

水稲用除草剤の適用雑草名は現在、水田一年生雑草又は個別に雑草名が記載されています。

水稲用除草剤でも、畑地用除草剤の取扱いと同様に、「多年生イネ科雑草」または「多年生広葉雑草」、もしくは両者を満たす場合は「多年生雑草」と記載されることになります。(それぞれのグループに含まれる草種は下表の通りです)

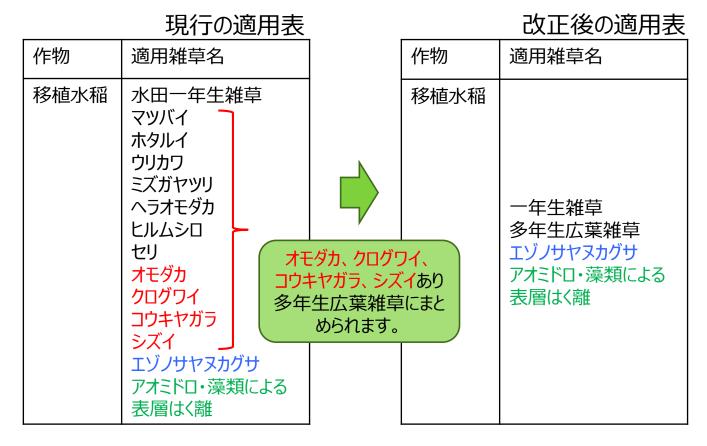
適用雑草名	含まれる雑草種	必要となる試験
多年生イネ科雑草	エゾノサヤヌカグサ、キシュウスズメノヒエ、アシカキ、 チクゴスズメノヒエ、サヤヌカグサ、ウキガヤ等	エゾノサヤヌカグサ、キシュウスズメノヒエ、アシカキの中から2草種以上選択、1草種当り2例以上
多年生広葉雑草	(カヤツリグサ科) クログワイ、コウキヤガラ、シズイ、ホタルイ、 イヌホタルイ、マツバイ、ミズガヤツリ等 (オモダカ科) オモダカ、ウリカワ、ヘラオモダカ等 (セリ科) セリ (ヒルムシロ科) ヒルムシロ	クログワイ、コウキヤガラ、オモダカ、シズイの全草種を対象とし、1草種当り2例以上

今後水稲用除草剤のラベル(適用表)については、公的試験の件数の条件が揃えば、 上記のグループ名で表示されるようになります。

⇒上記の試験例数が揃わない場合は、これまで通り雑草の草種毎に適用雑草名が表示されます。

# よくある一般的な一発処理剤の例

▶ 例 多年生広葉雑草と表示されるケース

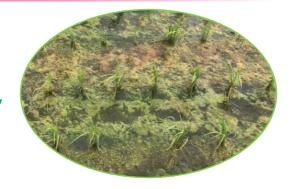


- ✓ この例の場合は、一般的なホタルイやミズガヤツリに加えて、難防除 雑草である「オモダカ」、「クログワイ」、「コウキヤガラ」、「シズイ」にも知 見があることから、「多年生広葉雑草」にグループ化されます。
- ✓ 多年生イネ科雑草に対しては「エゾノサヤヌカグサ」のみになるので、 そのまま雑草名が表示されます。
- ※尚、現在多年生イネ科に対して、「エゾノサヤヌカグサ」以外に登録があるのは、「キシュウスズメノヒエ」の登録がある23剤のみになります。

(参考: ホタルイの登録有は864剤)

# アオミドロ・藻類による表層はく離について

「アオミドロ・藻類」と一括りに表示はされていますが、その実態はあまりわかっていないのが現状で、一年生なのか多年生なのかの判断が困難なため、ひきつづき単独で「アオミドロ・藻類による表層は〈離」と表示されます。



# **⊴** Point

# 草種毎の使用適期は注意事項を確認しましょう!!

- ★農薬商品のラベルには適用表の他に、注意事項が記載されておりますが、雑草の草種ごとにも使用適期が記載されております。雑草のグループ化が進んでも、この点については変更ありません。
- ★商品によって、使用できる雑草の 生育ステージが異なるので、問題に なっている雑草に合わせて、商品を 選択するのも、非常に有効です。

### 例:フルパワーMX1キロ粒剤 ラベル

- ●使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- ●移植水稲に使用する場合、ノビエの3.5葉期までに、時期を失しないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布する。各雑草の散布適期は次のとおり。

ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ

●オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、生育段階によって効果にフレがでるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

# 多年生広葉雑草とは

多年生広葉雑草について、その生態と判別のポイントを紹介いたします。

線形葉 広線形葉

▶ オモダカ科(ウリカワ、ヘラオモダカ、オモダカ)

【判別のポイント】①草型、②花、③地下器官(根の色、塊茎の有無)(引用:主な水田雑草の見分け方:草薙得一氏)

器官·部位	ウリカワ	ヘラオモダカ	オモダカ			
増殖型 主要増殖器官 発生深度	分株型 塊茎 1~5cm	親株型 種子 0.5~1cm	親株型 塊茎 2~15cm			
葉の形態変化	線形葉:1~3cm →広線型葉	子葉 →線形葉:1~3cm →^ら葉:15~25cm	線形葉:5~10cm →へら葉:12~20cm →矢じり葉:30~60cm			
花茎	5~12cm (直立)	30~60cm (直立、分岐)	20~50cm (斜~直立)			
塊茎	有	無	有			
生育初期の葉形						

線形葉

へら蒙

線形葉

へら葉

### カヤツリグサ科(イヌホタルイ、クログワイ)

【判別のポイント】①草型、②花、③地下器官(根の色、塊茎の有無)

器官·部位	ホタルイ	クログワイ		
增殖型 主要増殖器官	親株型、叢生 種子	分株型、叢生 塊茎		
葉の形態	線形葉:4~6枚 草丈:30~70cm 円柱形、やや硬い、内部は海綿状。 直径1.5~2.0mm	針金状茎:3~5本 草丈:80~120cm 円柱形、柔らかい、内部が中空		
穂	途中に着生、苞葉が伸長、 円卵形	茎の先端に着生、苞葉は無い、 棒状		
塊茎	無	有		



### カヤツリグサ科(ミズガヤツリ、コウキヤガラ)

【判別のポイント】①草型、②小穂の着生時期・形状、③塊茎の形状

器官·部位	ミズガヤツリ	コウキヤガラ
増殖型 主要増殖器官	分株型·単生 塊茎	分株型·単生 塊茎
葉の形態	草丈:120~150cm 最大葉長:60~120cm 葉幅:0.9~1.3cm	草丈:40~70cm 最大葉長:35~40cm 葉幅:0.5~0.8cm
穂	出穂:8月下旬~9月上旬, 茎頂に着生,苞葉3~5枚	出穂:出芽後50日前後、茎頂に 着生し苞葉が連続して伸長
塊茎	長楕円形	球形~楕円形

# 水田多年生広葉雑草に有効な当社の薬剤 ★対象草種別に、登録取得薬剤の製品名を形成しています

各水田難防除雑草に対する使用時期は最大葉齢を記載しております。 使用時期(雑草葉齢も含む)、適用土壌、適用地帯、使用方法等詳細につきましては、 製品ラベル、技術関連資料、ホームページ等に記載の登録使用基準に従い、御使用ください。

	17、70、1文門因注負作、1、2、2、4、2、4、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1						
	使用時期(移植水稲)						
	オモダカ	オモダカ クログワイ コウキヤガラ		ホタルイ	シズイ		
フルパワーMX1扣粒剤	発生始期まで	草丈10cmまで	草丈10cmまで	3葉期まで	草丈3cmまで		
フルパワーMXジャンボ	発生始期まで	草丈10cmまで	草丈10cmまで	4葉期まで	草丈3cmまで		
*1 トビキリジャンボ	_	_	発生始期まで	2葉期まで	_		
*2 フルチャー ジジャンボ	矢じり葉抽出期ま で	草丈10cmまで	発生始期まで	_	草丈3cmまで		
*2 ナイスミドル1キロ粒剤	矢じり葉抽出期 まで	草丈10cmまで	発生始期まで	4 葉期まで	草丈15cmまで		
フルイニングジャンボ *3	矢じり葉抽出期 まで	草丈10cmまで	発生始期まで	4 葉期まで	草丈3cmまで		
スケダチエース 1 キロ粒剤	_	草丈15cmまで	草丈15cmまで	_	草丈15cmまで		
グラスジン Mナトリウム液剤	_	増殖盛期まで	草丈40~ 60㎝程度	発生揃期〜 4葉期まで	_		
グラスジン Mナトリウム粒剤	_	_	_	5葉期まで	草丈20cmまで		

#### \*注意\*

- 1:フルチャージジャンボ剤は、SU抵抗性一年生広葉雑草に対する効果を有しますが、 SU抵抗性多年生 雑草には効果が期待できません。
- 2: ホタルイへの効果はSU剤感受性個体に対する効果(葉齢)となります。
- 3:スケダチエース1キロ粒剤は、SU抵抗性雑草に対しては効果が期待できません。

# 石原の農薬登録情報

●2019年8月16日~9月30日までの間に登録された弊社の新農薬(適用拡大を含む)は、次の通りです。 (下線部が適用拡大になりました。)

#### 8月28日 適用拡大

## テッパン液剤

#### <適用病害虫名の追加>

- ・作物名「りんご」の適用病害虫名に「コガネムシ類」「オオタバコガ」「カメムシ類」を追加する。
- ・作物名「なし」の適用病害虫名に「ヒメボクトウ」を追加する。
- ・作物名「ぶどう」の適用病害虫名に「カメムシ類」を追加する。
- ・作物名「茶」の適用病害虫名に「ツマグロアオカスミカメ」「マダラカサハラハムシ」を追加する。

#### <希釈倍数の変更>

・作物名「茶」の適用病害虫名「チャノホソガ」の希釈倍数を「2000倍」から「1000~2000倍」に変更する。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	シクラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
りんご	シンクイムシ類 キンモンホソガ ハマキムシ類 ケムシ類 ギンモンハモグリガ ヒメボクトウ コガネムシ類 オオタバコガ カメムシ類	2,000倍	200~700L /10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
なし	シンクイムシ類 ハマキムシ類 カメムシ類 <mark>ヒメボクトウ</mark>	2,00016					
ぶどう	ケムシ類 チャノキイロアザミウマ コガネムシ類 <mark>カメムシ類</mark>						
茶	チャハマキ チャノコカクモンハマキ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ ヨモギエダシャク <mark>ツマグロアオカスミカメ</mark> マダラカサハラハムシ	1,000倍	200~400L /10a	摘採3日前まで	1 🛭	散布	1回
	チャノホソガ	<u>1,000~</u> <u>2,000倍</u>					

(該当作物にかかる部分のみ記載)

#### 〈使用上の注意事項の変更・追加〉

以下を追加する。

・カメムシ類防除に使用する場合は、多発時には効果が劣ることがあるので注意すること。

#### 8月28日 適用拡大

### ダブルトリガー液剤

#### <作物名の追加、変更>

- ・作物名「さくら(クビアカツヤカミキリ)」を追加する。
- ・作物名「樹木類」を「樹木類(さくらを除く)」に変更する。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	シクラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
1.12	クビアカツヤカミキリ			発生初期			
<u> </u>	<b>← / &gt; *</b> 5	2,000倍	200~700L /10a	発生前~	2回以内	散布	2 回以内
樹木類 <u>(さくらを除く)</u>	ケムシ類			発生初期			

(該当作物にかかる部分のみ記載)

<使用上の注意事項の変更・追加>

なし

弊社では、圃場の土壌を御送付頂き、その土壌中のセンチュウ量を測定し、防除計画の御参考にして頂く無料サービスを継続実施しております。



「SK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078 ホームページ アドレス http://ibj.iskweb.co.jp

